



令和6年度 七飯町立大中山小学校 学校便り 3月21日

# 山っ子通信

後期学校評価アンケート結果について

## 大中山小学校 重点教育目標 〈令和6年度制定〉

- 【学校の目標】 自分の考えをもち豊かに表現する子の育成 自他を大切にし、行動できる子の育成
- 【児童の目標】 チャレンジしよう！ 自分の考えをもとう！ うまく伝えよう！ ねばり強くやり切ろう！ 自分も、まわりの人も大切にしよう！

## 学校評価アンケートへのご協力

ありがとうございました



後期学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果を掲載いたしましたので、ご確認ください。

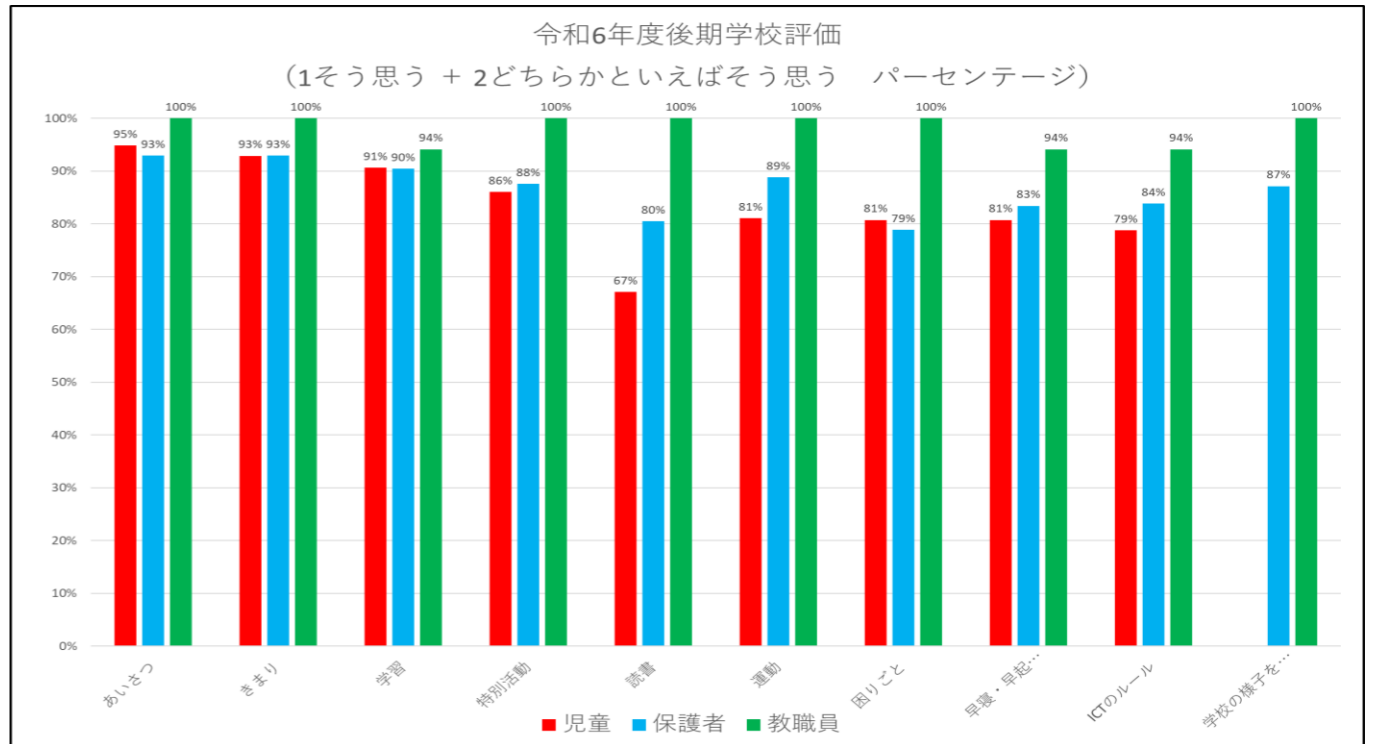
### 1 評価項目について

児童の実態、昨今の教育の動向、保護者・地域・教職員の願い、昨年度学校評価結果等から、本校の重点教育目標を設定しております。その重点教育目標達成のために、10項目（あいさつ・きまり・学習・特別活動・読書・運動・困りごと・早寝早起朝ごはん・ICTのルール・学校の様子をよく知る事ができる）を設定し、4観点（そう思う・どちらかといえばそう思う・どちらかといえばそう思わない・そう思わない（・わからない））において、ご意見をいただきました。

項目	あいさつ	きまり	学習	特別活動	読書	運動	困りごと	早寝早起朝ごはん	ICTのルール	学校の様子
児童質問内容 (低学年)	あいさつができていますか	がっこうのきまりをまもってせいかつしていますか	がっこうのべんきょうとしてゆくだい(かていがかくしゅう)をまいにちがらばっていますか	むくひょうをたてて、がっこうせいかつをおくっていますか	すすんでほんをよんでいますか	がっこうやいえてたくさんからだをうごかしていますか	こまったことがあったら、たんにんやほかの先生にそうだんしていますか。(今まであまりこまったことがないは、これからこまったことがあった場合、そうだんできそうですか)	はやね・はやおきをして、あさごはんをたべていますか	いえて、ゲーム・スマホ・タブレットなどのつかいかたのルールをきめてついていますか	
児童質問内容 (高学年)	あいさつができていますか	学校のきまりを守って生活していますか	学校の勉強と宿題、家庭学習を毎日がんばっていますか	目標を立てて行事に向かったり、係活動を実行したりした後、振り返りをして、よりよい活動になるように工夫していますか	自主的に読書をしていますか	学校や家で、体育の時間や休み時間、外遊びなどで運動に取り組む、自分から体力づくりをすることができていますか	困ったことがあったら、担任やほかの先生に相談していますか。(今まであまり困ったことがない人は、これから困ったことがあった場合、相談できそうですか)	早寝・早起き、朝ごはんを実行できていますか	家庭で、ゲーム・スマホ・タブレット等の使い方のルールを決めて使っていますか	
保護者質問内容	学校では、あいさつができるような指導を行っていると感じますか	学校では、お子様がきまりを守って生活できるような指導をしていると感じますか	学校では、お子様の力が高まるよう、授業と宿題・家庭学習を連携して指導していると感じますか	学校では目標を立てて様々な活動に、自主的に、工夫しながら活動できるような指導を行っていると感じますか	学校では、読書に親しめるような環境づくりをしていると感じますか	学校では、体育の学習や休み時間などの活動を通して、児童が体力づくりができる取組が行われていると感じますか	お子さんが困り感を抱いた時に、学校は相談できる窓口となっていますか	お子様は、早寝・早起き・朝ごはんを実行できていますか	家庭で、お子様とゲーム・スマホ・タブレット等の使い方のルールを決めて、使わせていますか	学習の内容やお子様の様子を、個人懇談や学年通信、学校より等でよく知ることができましたか
教職員質問内容	児童があいさつができるようになる指導をしているか	学校のきまりを守って生活できるような指導をしているか	授業と家庭学習が連携して児童が主体的に学び続けられるような学級・教科経営をしているか	教育活動全体を通して、見直しをもち振り返りを行う機会として、キャリアパスポートを活用することができているか	読書に親しめる取組ができているか	児童が自ら進んで体力づくりができるような取組は適切に行われているか	支援体制の構築に向けた取組は適切であったか	児童に、早寝・早起き・朝ごはんの大切さを伝えてきたか	ゲーム・スマホ・タブレット等の正しい使い方の指導を、家庭と連携して行ってきたか	学習の内容やお子様の様子を、個人懇談や学年通信、学校便り等で、積極的に発信してきたか

1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえば思わない 4 そう思わない (5 わからない)

## 2 学校評価アンケート結果（三者（児童・保護者・教職員）比較）



項目	あいさつ	きまり	学習	特別活動	読書	運動	困りごと	早寝・早起き・朝ごはん	ICTのルール	学校の様子をよく知る事ができる
児童	95%	93%	91%	86%	67%	81%	81%	81%	79%	
保護者	93%	93%	90%	88%	80%	89%	79%	83%	84%	87%
教職員	100%	100%	94%	100%	100%	100%	100%	94%	94%	100%

\* 全体的に、児童・保護者・教職員の数値から、取組に対する達成状況の認識に乖離が生じていると読み取れます。次年度、児童に対しては、自身が「成長している」「もっと頑張りたい」と実感できる取組を学校全体で行っていく必要があると考えます。保護者に対しては、学校が力を入れて行っている取組をより効果的に伝え、理解と協力を得て、連携して進めていく必要があると考えます。

\* あいさつにおいて、3者とも高評価であった。日常でも元気なあいさつが響いています。また、先日の児童会選挙立会演説会において、多くの立候補者が「あいさつは大中山小の自慢で、もっと元気なあいさつができる学校を目指したい」と演説しており、児童自身もよさとして捉えていることがわかります。次年度、児童からこれまで以上に活き活きとしたあいさつが自然と出るような安心して楽しく過ごせる学校を作りたいと考えています。

\* 読書において、児童が67%と前期に比べて6ポイント下がりました。児童の様子から、全体的な低下というよりは、読書に親しむ子どもとそうでない子どもの2極化が進んでいると思われる。今年度、児童会の図書委員会と連携しながら、キラキラシール作戦やしおり作戦などの取組を行ってきましたが、次年度も児童が興味関心を抱くような本を置いたり、読書の有益性を根気強く伝えたりして、読書のきっかけ作りを行いたいと考えています。

\* 困りごとにおいては、学校の十分な支援体制構築を目的に、保護者と教職員への質問項目としていましたが、「児童にも質問することで実態を捉え、児童が困りごとを相談しやすい学校作りへのアプローチになるのでは」と、学校運営協議会（地域の参画も得て、ともに学校運営を進めていくための連絡協議会）からご意見いただきました。その通りであると学校で判断したため、後期より児童への質問項目として設けました。児童において、81%が困りごとを抱いた際、相談できると回答していますが、約20%、人数にすると各学級6~7人が相談できないと回答していると捉えることができます。教師が共感的に児童の話を受け止める姿勢を忘れずに接することに加え、学年担任制を進め、複数の目で児童を見ることや相談窓口の複数化によって、児童の困り感を漏らさず受け止めていきたいと考えています。

\* 早寝早起朝ごはん・ICTルールにおいて、児童が前期より減少しました。また、学年が上がるにつれて「できている」「どちらかといえばできている」が減少傾向でありました。この項目においては、家庭の協力が必須であります。健全な生活やICTの上手な使い方は、学力面や運動面ともに関係することは明白となっています。児童の健全育成のために、継続して家庭にも訴えかけ、協力を得ていきたいと思っております。

裏面に、「朝食」「起床時間」「就寝時間」「SNS等利用時間」と「学力」の関係を表したグラフを掲載しております

### 3 記述について（※同意見のものをまとめて掲載するために、文言を若干変えているものがあります。ご理解ください）

たくさんのご意見ありがとうございました。いただきましたご意見を3つのカテゴリに分けて、見解を示しております。

#### 《児童理解・生活に関わって》

No	保護者のご意見	学校の見解
1	人数が多い学校だから、我慢していること出来ないことたくさんありますが、人数が多いからこそ出来ることもたくさんあると思います。それを是非今後活かしてほしいなとそうだと嬉しいなと思います。	・ご意見がありました通り、「規模が大きい」ことを弱みにせず、強みにしていく教育活動を、児童の成長のために、今後もさらに模索し進めたいと考えています。現在、意識して行っている活動として、総合的な学習の時間の探究的な活動において、協働的に調べ学習をしたり、学級や学年の枠を超えた発表をしたりすることで、多様な考えに触れ合う場を設けています。これは、人数が多い学校だからこそできていることあり、さらに深化させていきたいと考えています。
2	昔と比べると色々とペースがゆっくり。	・社会情勢が目まぐるしい変化や教育課題山積の中、児童には、ゆとりをもってじっくり学校生活を送ってほしいと考えています。文科省からもそのような通知が来ているところです。ただし、学ぶべきことをしっかり学ばせる、経験できることをしっかり経験させることはいつの時代も必要なことで、そのことを見落とさず、児童にとって成長につながる学習や活動を保護者・地域の協力を得て着実に進めていきたいと考えています。
3	学校評価のたびにご意見させていただいておりますが、そのほかの保護者の方からのご意見なども学校の都合のいいように解釈し、もちろん納得いく回答もごさいますが、結局はこちらの意見を前向きに検討する気がないように感じられる回答もごさいます。多くの保護者の意見をまとめ、納得いく回答とすることは難しい事とは存じますが、今回から記名式になりましたので、意見した保護者から直接、意見の真意を確認する事をしてほしいのではないかと思います。記名した上で意見するという事は、それだけ自分の意見に責任を持って発信していることだと思われるので、学校としてもその意見により向き合って頂ければ幸いです。今後とも、よろしくお願致します。	・学校評価でいただいたすべてのご意見は、全職員で共有しております。また、行事などのさまざまな活動ごとに振り返りの場をもち、より良い教育活動推進を目指しております。確かに、納得のいくご回答や活動に結びつけることが少なく、心苦しく思っておりますが、様々な視点を踏まえ、児童の成長を第一に、現時点でできることに取り組もうとしていることは事実です。ご理解いただければ幸いです。今後とも、保護者の方にはご意見を賜り、視座を得たい所存であります。
4	ベースアップクラスや、チャレンジ学級の先生が発達支援の専門の資格を持った先生ではないことに不安を感じています。	特別支援教育の免許状所有者を中心に担任団が構成されています。小学校免許状所有で担任の教諭もおりますが、定期的に全職員をもって特別支援に関する研修の場を設けて、適切な理解や指導に努めております。また、ベースアップ担当に関しては、限りある人数の中で職員が指導にあたっております。活動内容や児童の様子を細かく共有し、児童が安心して、落ち着いて学習できるようにさらに努めていきます。
5	教室 体育館にクーラーをつけて欲しい	現在、工事が進められており、今年中に普通教室に設置される予定です。保健室には既に設置されています。町の予算に基づいて、計画的に進められていることもあり、今しばらくお待ちください。
6	生徒によって態度を変える、または他の先生がいない時には生徒たちを萎縮させる態度をとる先生がいらっしゃることに少し不安を感じています。	・児童の人格形成において、学校が大きな役割を担っていることは間違いないと思います。しかし、ご意見にもありましたように、ご家庭の協力や役割も不可欠です。近年、児童との関わりにおいて、学校側が難しさを感じていることも事実です。その学校側が感じている難しさを包み隠さず保護者に伝え、一緒にどんなことができるかを考えることが、児童のよりよい成長への第一歩かもしれません。勿論、学校側も今一度帯を締め直し、児童を尊重した関わりをしっかりと行っていく必要がありますが、「学校だけで」「家庭だけで」ではなく、地域や各方面の協力も加え、「みんなで」児童のよりよい成長を願った働きかけを今後も行っていくことが必要であるという思いを強くしております。
7	一部で友達関係の乱れがある話を聞く。個々の性格や家庭環境もあるので学校でも介入しにくい部分もあると思うし解決出来かねる部分もあると思う。学校での出来事は学校で解決しようとしている姿勢も見てわかります。学校の責任などは私は思わないですし、親がどう子供に関わり教育していくかが一番だと思います。成長する過程の中の一つが学校という環境というだけで表面化されている部分が見え隠れしている部分を家と外では違う姿を見ているのか学校ってだけで、厳しいかもしれませんがもう卒業なので身に沁みて自分のしてきた事が返ってきていると良い加減自覚出来ても良いと思います。学校はちゃんと解決に向けてやってくれていると私は思っています。	・また、多くの人材紹介ありがとうございました。様々な人との関わりを通して、視野を広げ、自分を見つめ直すことはとても大切なことだと思います。可能な限り、そのような場を設けていきたいと思っております。必要に応じて、山っこサポーターズの協力なども得て、児童と保護者参加型の講演会開催なども実現できれば幸いです。
8	クラスの人数が多く現実的ではないが、もう少し個別に関わりや指導ができることありがたい	
9	色々と難しい時代ですが、「人」として成長出来るよう家庭共に協力しますのでこれからよろしくお願いたします。	
10	子供たちが、とても受身のように感じるの、自分達がどうして学校に来ているか、なぜ勉強をしているのか、世界と比べてみたり、昔と比べてみたり、他の地域と比べてみたりと広い世界を知って意欲を持って欲しいです。たくさん、公演をしてくださる方がいると思うので、そういう方のお話を聴く時間を設けて欲しいと思います。例えば、杉谷孝士さんのような芸能人や谷口たかひささんのような環境活動家、沖縄民謡の東風平加奈子さん、色んな講演を行っています小柳亮亮さん等	
11	特に今のままで不満などはありません	こちらこそありがとうございます。児童の成長、児童の笑顔が学校の原動力であり、職員も一番願っていることでもあります。それを願っていない職員は一人もおりません。上述にもありますが、慢心することなく、今一度帯を締め直し、児童を尊重した関わりをしっかりと行なっていき、もっともっと成長・笑顔が見られる学校を目指していきたいと思っております。
12	ありがとうございます。感謝です。	
13	いつもご指導ありがとうございます。	
14	6年間ご指導いただき本当にありがとうございました。	
15	先生やお友達が好きで、勉強も楽しいようなので、娘が楽しく登校できているのであれば親としては何も言うことはありません。いつもありがとうございます。	

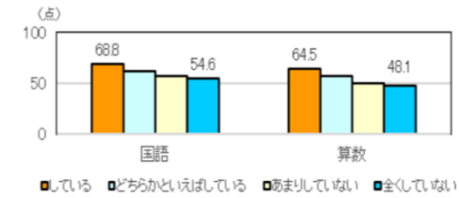
#### 《行事に関わって》

No	保護者のご意見	学校の見解
1	今年の遠足は、お弁当持参してお友達と楽しく食べる事が出来たら嬉しいです。運動会も給食ではなく、お弁当持参か給食などで子供と一緒に帰宅出来たらいいです。	遠足も運動会も次年度の計画中であるため、確定した回答はできませんが、参考にさせていただきます。授業時数等様々な視点で検討しておりますので、ご理解ください。
2	教育活動についてではないのと、こちらに書くことではないと思うのですが、参観日に関係の無い世間話をする親がいる事が気になる。何をもしに参観に来ているのか、授業内容や発表が聞かえなくなるし、子どもたちも気になるのでは無いか?と感じました。普段話せないのかも知れないが、せめて教室内ではなく廊下、終わってからや後日にしてほしい。以前運動会について傘や椅子についての事も書かれていましたが、そちらも言われなければやってもいい状態になってしまっている。	授業参観の目的は、「児童の学習状況や様子を参観してもらうこと、学校と家庭とで相互理解を図り、よりよい教育活動推進につなげていくこと」です。ご指摘のあった点は、学校側も若干気になっていたところです。今一度、保護者の方には授業参観の目的をご確認いただき、児童の頑張りを目を向けてほしいと思います。授業参観の案内等でもそのことに触れて、周知したいと思っております。
3	学習発表会では楽しく発表を見ることができましたが、頻繁に子ども達の移動があると座っている場所から自分の子どもが見えづらい場面もあった。	ご意見ありがとうございます。学習発表会は、以前とは変わり、七飯町教育委員会の方針にもある通り、「持続可能な、学習の成果をしっかりと発揮できる行事」として位置づけられており、児童がこれまで学習したことを生き活きと笑顔で発表できるよう、今後も支えたいと思います。また、本校は学年の人数が多く、できるだけ一人一人の活躍が見えるように毎年担当が工夫をこらしています。移動もその工夫の一つですので、ご理解ください。児童の移動は、学年通信で、事前に可能な限り詳細を伝えていきたいと思っております。
4	3年生の学習発表会。とてもとても素晴らしかったです。3年生の先生方全員が、汗かきながら全力で身体を張って指揮をして、ニコニコで支えてくださり、手拍子で見つめ応援してくださる先生方のフルパワーが生徒に伝わって、みんなも全力で声を出し一生懸命発表出来てるのだなと実感したステージでした。ありがとうございます。すぐに先生方に伝えたいと思いましたが、機会がなくこの場になってしまいました。3学期もまだ始まったばかりですが、1年間本当にありがとうございました。	
5	9年ずっと懇談に参加していますが、ずっと集まりが悪くて驚いています。活動を動画や写真など見せて親にも興味を持ってもらえたらと思っています。	学校としても、懇談会の人数を増やし、児童の成長に関わるお話を増やしたいと願っています。ご意見があった取組も参考に、より多くの保護者の方に参加していただくよう、工夫をこらしていきたいと思っております。

### 《学習・日課に関わって》

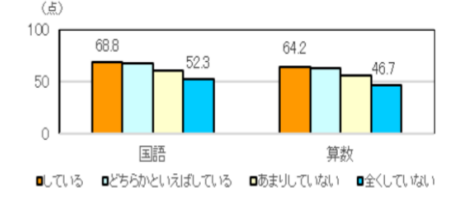
No	保護者のご意見	学校の見解
1	図工の時間に制作した作品等は自宅に持ち帰ってこないのでしょうか?今まで一度も持ち帰ってきてないので、学校で処分されているのでしょうか?一生懸命作った作品なので廊下での展示期間が終わったら持ち帰りを希望します。	1年間の図工などの作品は、年度末にまとめて持ち帰ります。そのことをお知らせするのが遅くなり、申し訳ありません。
2	図工について 顔を描く課題の際に、恐らく顔の各パーツをどのように描くか指定していると感じて、みんなの絵が同じにしか見えず、個性を消されている点が非常に残念でなりません。	自由な発想でのびのびと描くためには、1年生の段階で目・鼻など各部位のつくりやバランスなど基礎的なことをしっかり学ばせることが大切であると考え、進めました。また、完成度を高めて、児童に達成感や満足感を味わえたいという担任団の思いもありました。
3	いつも有難うございます。娘の学級では?自主学習を頑張るとシールが貰えるんだと張り切っていました。しかしいつも夜遅くまでなかなか終わらないと確認したところ自分で目標設定が高かったようで2枚貰えるからと頑張りすぎていたようです。	・宿題に関しては、どの学年も授業内容と連動し、しっかり身につけて欲しい内容で、全員が着実にこなせるものを出しております。ご意見がありました通り、分量が少ない児童もいると思いますが、足りない分は家庭学習を通してその子にあった学習を進めて欲しいと思います。
4	宿題がChromeになりましたが、学童ではWi-Fiが繋がらないのでできません。学童での学習時間がもったいなく感じます。	・解答を裏面に載せているのは、宿題に取り組んだ後、すぐに答え合わせを行って誤答を修正し、正答を定着させるためです。学校でもあらためてそのことを指導していきますので、家庭でもお声がけいただければ幸いです。
5	クロムブックでの宿題について、意見があります。漢字の書き順や止めハネ、長さなどが適当でも、答えが正解になってしまうところが少し気になりました。	・Chromebook での宿題は、個人の理解度に応じて解き直しが必要であったり、適した問題が出題されたりと、個別最適な学びを進める上で非常に有効なツールであると考えているため、今後も継続してまいります。漢字に関しては、明らかに字形の崩れたものは「書き直し」となりますが、細かいところまでの対応は追いついていないかもしれません。現在七飯町で採択されているオンラインドリルは、次年度も継続予定であります。業者に要望を伝える機会がありましたら、精度を上げるよう伝えていきます。また、学童のネット接続状況までは把握しておりませんでした。今後、学童とも連携し、学童でもオンラインドリルに取り組める方法を探していきたいと思っております。
6	教育活動については様々な取り組みがあって大変良いと思っています。最近娘が毎日のように『カバンが重い…歩くの大変…』話します。今後もクロムブックの学習が必須であると思っているのですが少し心配しています。何か良い策があればと思っています。	・前期の学校評価でもお伝えしました通り、これからは児童が自分で課題を設定して取り組む主体的な家庭学習が必要で、学校でもそのような家庭学習を推進していきたいと考えています。発達段階に応じては、家庭の協力も必要となる場合があります。そのような家庭学習を進めるためにも、ご意見がありました通り、今どのような学習に力を入れているのかや、どのようなつまずきが見られるかなどの情報も積極的に伝えていきたいと考えています。
7	宿題についてですが、3年生は平日はChrome、週末は自学ノートで行う形になっていますが、逆を希望します。毎日重いChromeを持ち帰るのは小学生の身体の成長面で悪影響も懸念されますし、自学ノートの回数を増やす方が、自分で勉強する力を伸ばすことができると考えます。	・これも前期学校評価でお伝えした通り、可能な限り教科書を学校保管するなどの策を講じ、Chromebook 持ち帰りによる負担軽減につとめてきました。しかしながら、低学年は他学年に比べると使用頻度が少ないことも事実ですので、今一度持ち帰りの必要性について検討してまいります。
8	全体を通して授業だけでは補えない箇所や復習したほうがよい部分を、週末のお便りでいいので知らせてほしいです。休みの日の自学の参考にしたいです。	児童が楽しく一生懸命取り組む体育学習の追究は、学校としての責務だと考えます。得意不得意、経験者未経験者様々な児童の実態に応じられるよう工夫をこらした授業作りを行ってきたいと思っております。また、場合によっては、様々な実態の子と一緒にチームでの学習場面も出てくるかと思いますが、その中でもお互いに配慮してプレーすることで、思いやりの気持ちや育むことも体育学習の大きなねらいの一つですので、そのような気持ちを醸成するような働きかけも行っていきたいと考えています。
9	ペーパーレスとはいえ、裏に答えを付けていると答えを写してしまうので意味がない。計算、漢字は数をこなさないと覚えれないと思います	保護者の方にはご不便をおかけしていますが、各学校に配分された予算内用紙等の消耗品も含まれており、様々な教育活動を充実させるためにペーパーレスの推進はやむを得ない状況にあります。ご理解ください。学校によっては、児童が見られるよう廊下掲示しており、時折休み時間に目を通して見る児童もおります。学年だよりや時間割は、学習進度や時間割を児童が直接確認できるように紙面発行しており、今後も紙面発行を継続していく意向であります。
10	宿題をもう少し増やしても良いのではないかと思います。	
11	1年生のChromebook 持ち帰りは毎週必要ないと思います(バッテリーの残りが90%以上あり、毎週でなくとも月2回程度の持ち帰りで十分と思われます。宿題も紙ベースであり、週末に端末を使用する機会もありません。何よりも1年生には荷物が重くなり身体的負担となっています)。	
12	バレーボールやバスケットボールなどの体育の授業の際に得意な子や経験者でない子達も楽しめるような取り組み方をもう少し考えていただけるとありがたいのかなと思います。チーム作りであったり、内容であったりいつも得意な子や経験者の子ばかりが優先となるためもうちょっと考えて欲しいなって子供が呟いていたました。	
13	紙面での配布物の削減は時代的に仕方ないのかもしれませんが、個人的には好ましく思いません。データで送信する事で、保護者だけでなく子ども達が学校からの情報を目にする機会が減っていることは明らかだと思います。せめて学校だよりは、紙面が望ましく思います。学校によっては、学年だよりや時間割までもデータ送信しているそうですが、大中山小学校では絶対にやめてください。	

#### 朝食摂取（せしゅ）と学力調査の平均正答率との関係（小学6年生）



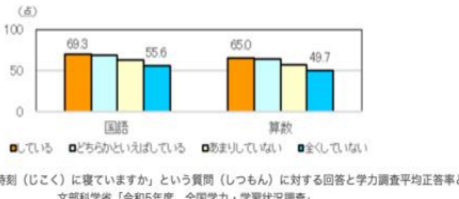
※「朝食を毎日食べていますか」という質問に対する回答と学力調査平均正答率との関係  
文部科学省「令和5年度 全国学力・学習状況調査」

#### 起床（きしょう）リズムと学力調査の平均正答率との関係（小学6年生）



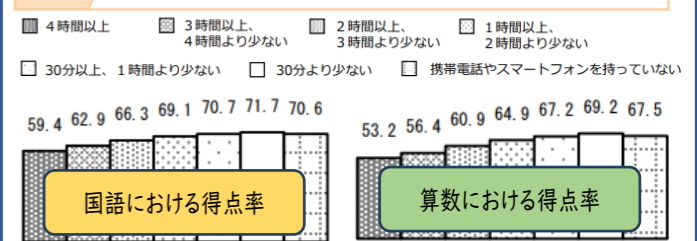
※「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という質問に対する回答と学力調査平均正答率との関係  
文部科学省「令和5年度 全国学力・学習状況調査」

#### 就寝（しゅうしん）リズムと学力調査の平均正答率（へいきんせいとうりつ）との関係（小学6年生）



※「毎日、同じくらいの時刻（じこく）に寝ていますか」という質問（しつもん）に対する回答と学力調査平均正答率との関係  
文部科学省「令和5年度 全国学力・学習状況調査」

#### 児童（6）生徒（6） 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。



文部科学省・国立教育政策研究所より

この他にも、様々な相関関係を示したグラフがあります。各家庭におかれましては、しっかり朝ごはんを食べさせ、「頑張ってきてね」「楽しんでおいで」など声をかけて送り出していたくことが、お子様が頑張るための第一歩だと考えます。ご協力お願いいたします。